

平成 29 年度事業計画

総 括

平成 29 年度の重点項目を以下の通りとする。

1. ダンススポーツの大々の普及を目指す活動

(1) オリンピック競技種目化を目指す活動

〈1〉2018 年ユースオリンピック(Breakdance)において金メダル獲得を目指すための体制整備、及びオリンピック予選となる世界選手権を日本主導で成功させる準備

〈2〉2018 年ユースオリンピックを突破口に 2024 を目指す

(2) 早期の国体参加に向けた活動

(3) 若年層向けのダンスを中心とする大々のダンス普及プロモーションの実施

(4) 認定ダンス教室制度の導入と連携による新型ダンス普及事業の検討

2. ダンス人口高齢化・減少と会員減少を防止する施策

(1) 学連との協調、及び他ジャンルダンスとの連携による若年層ダンス人口の拡大

(2) ワールドスタイルダンス等の非競技系(生活文化としての)ダンス普及施策の実施

(3) スポーツ医科学研究に基づく健康寿命を延ばすダンス生活習慣の研究と普及

(4) 学校学習への導入施策検討

3. 競技会の活性化

(1) 三笠宮杯、グランプリ競技会など主要イベントの更なる魅力作りと集客増の検討

(2) DSCJ 全日本統一級競技会の推進

(3) PD 競技会の活性化

PD ランキング競技会の全国実施の他、ティーチャー&スチューデント、マスターズなど新競技体系の確立と普及

4. 選手強化

海外派遣、国内・国外合宿、強化練習に注力する。世界レベルの選手輩出を目標とし、ジュニア・ユースの支援を強化して、底辺の拡大を図る。新たに加わったブレイクダンスについては、ユースオリンピックでの金メダルを目指して強化を行う。

5. 会員組織の抜本的な見直しと強化

昨年度に創設した PD 部門やブレイクダンス部門などを含め、新たな発展のための会員制度、サークル制度、総会構成員、運営体制等も含めた組織機能や事業のあり方等について再検討を行う。

6. その他重点施策

(1) WDSF 教本全 10 冊の日本語翻訳版・ダンススポーツ教本及び DVD をもとに、全国に講師を養成し、加盟団体や認定教室を中心に最新のダンス技術の普及を図る

(2) Web による競技会エントリーシステムなど、IT 利用による利便性の向上と、事務・運営機能の徹底強化を行う

(3) 創立 40 周年記念事業を実施し、50 周年に向けた将来を展望する

(4) その他、定型的業務としての普及事業、指導員育成、資格管理業務、技術認定業務、国際業務、競技会関連業務、ジュニア育成業務、PR 推進業務、マーケティング業務、アンチ・ドーピング業務などを着実に実施し、円滑な組織運営を図る

各本部・委員会

普及本部

普及本部では、各部門において以下に示す視点で諸施策を推進する。

- 1) PD部門の発足に伴う整合制のある仕組みや制度の検討
- 2) 非競技系ダンスの普及施策
- 3) 健康増進プログラムの開発と普及、認知症対策として高齢者に適したダンスプログラムの構築
- 4) (仮)技術認定ファイナルグレードコースの創設

1. 指導部

- 1) 公認指導員資格更新研修では従来のダンス技術を主体としたものにとどまらず、スポーツ指導者に必要な知識及び指導員の心得え並びに技術研修を取り入れ、会員拡大と普及を踏まえた内容の充実を図る
- 2) 新規指導員養成講習会とそれに伴う選考試験、並びに公認指導員研修会を全国レベルで実施し、公認指導員の充実と指導技術向上を図る
- 3) 資格取得後3年以上経過したC級指導員に対し、B級指導員への昇級選考試験を引き続き実施する
- 4) B級指導員からA級指導員への昇級試験を実施する
- 5) (公財)日本体育協会公認競技別指導者制度の2018年度改定計画と連携した検討を行う
- 6) 全国6ブロック指導部長会議を開催し、コンGRESSなど各事業計画の連絡及び各ブロックにおける要望事項などの意見拝聴と調整を行う
- 7) 2018年度全国指導員講師養成講座の見直し検討を行う

具体的な事業は以下の通り。

- (1) 公認指導員研修会
- (2) 新規公認指導員選考試験とそのための講習会
- (3) B級公認指導員昇級試験とそのための講習会
- (4) A級公認指導員昇級試験
- (5) (公財)日本体育協会2018年度スポーツ指導者制度改定に合わせた検討
- (6) 全国ブロック指導部長会議
- (7) 2018年度は2年毎の全国指導員講師養成講座を計画するが内容の検討を行う。

2. 技術認定部

技術認定制度は、平成17年度の制度施行から11年を経過しており、その実績を評価検証しつつ、非会員への受験機会の拡大や選手経験者への受験機会の提供等更なる改善に努めるとともに未経験者への導入方法について、これまでの常識にとらわれない広い視野で検討するものとする。

なお、上級受験者への指導法や合否判定ノウハウの共有も含めて以下の事項に取り

組むものとする。

- (1) 公益法人としてのスタンスによる非会員向けの活動の促進
- (2) グレードコースの着実な展開による普及促進と受験者層の底辺拡大
- (3) ハイグレードコースの発展に向けた多岐にわたる誘導施策の展開
- (4) 技術認定会の先進事例の情報共有と水平展開
- (5) (仮)ファイナルグレードコースの創設

3. ダンススポーツ医科学研究部

昨年度完成したスタンダード5種目、ラテン5種目、計10種目のWDSF教本10冊に対応する日本語翻訳版教本及び各教本に対応したDVDをもとに最新のダンス技術の普及を図る。

また、以下の課題を視野に官学共同研究等も推進する。

- (1) 認知症予防に極めて有効とされるダンスの効果検証
- (2) ロコモティブシンドローム予防とダンススポーツについて
- (3) ダンサーの身体能力の把握とその向上策
- (4) ダンサーの怪我予防
- (5) 「ダンスの基本となる姿勢や歩行に関する研究」を通して理想的姿勢・動き等に関するダンススポーツの解析
- (6) DMA (DanceSport Motion Analysis) システムの改善

4. (仮称)女性スポーツについてのワーキンググループ

国立スポーツ科学センター(通称:JISS)による女性アスリートの育成・支援事業の取り組みを参考に、ダンススポーツのアスリートのみならず、ジュニアから高齢者の女性の主に健康に関する諸問題を洗い出し、引き続き各専門部が取り組む仕組みづくりとそれぞれの連携を目指す。

5. JDSF 資格試験制度等プロジェクト

- (1) PD資格、GD指導員資格、審判員資格等整合制のある仕組みと制度の検討
- (2) JDSF技術認定制度、PD教室で実施してきたメダルテストの整合制ある融合、統合又は新たな視点に基づく制度設計

6. 社交ダンス普及プロジェクト

非競技系ダンスの普及施策を具体的に推進するため、社交ダンス普及プロジェクトを設置し、以下の事項に取り組む。

- (1) 初心者講習会の全国展開
- (2) 初心者指導法の確立
- (3) 行動する指導員の養成
- (4) 新たなターゲットへの展開
- (5) その他

国際本部

国際本部は WDSF 及び ADSF によるオリンピック関連事業の一翼を担うべく、各国競技団体との協調の下、国際的に、次のダンススポーツ活動を推進する。

- (1) WDSF 及び ADSF 事業への協力
- (2) WDSF 選手権及び WDSF 各種競技会等への選手や役員の派遣手続
- (3) 国内事業における海外関係への担当、協力、助言
- (4) ダンススポーツのオリンピック種目を目指した活動を行う

具体的には次のとおりである。

- (1) WDSF 及び ADSF 総会等に参加し、また、e-mail 等による各種情報伝達により国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う
- (2) 海外競技会選手派遣部(選手派遣部)を中心に WDSF 競技会に関する案内と派遣手続、選手への助言を行う。選手派遣については世界スタンダード選手権、世界ラテン選手権、世界 10 ダンス選手権、世界シニアスタンダード選手権、世界シニアラテン選手権、世界ユーススタンダード選手権、世界ユースラテン選手権、世界ユース 10 ダンス選手権、世界ジュニアスタンダード選手権、世界ジュニアラテン選手権、世界ジュニア 10 ダンス選手権、アジアシングルダンス選手権、及び WDSF 関連競技会等の競技会への派遣手続を行う
- (3) WDSF World Open、WDSF International Open 競技会等の海外関係事業,そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う
- (4) 2017 World Games へ派遣する選手の支援を行う

1. 国際渉外部

国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う。また競技会等での海外関係事業,そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う。

2. 選手派遣部

[ミッション] 日本代表選手を派遣する。

- (1) 日本代表選手のエントリー
世界選手権、ワールドカップ、アジア太平洋圏内の代表競技会に、各年代の選手を派遣する
国際派遣選手選考規程に則り選考された選手のエントリーを行う
- (2) 旅費補助の確認/承認
海外派遣選手援助規定に従った旅費が妥当である事を確認し、旅費精算の承認を行う
- (3) シニアⅡ、シニアⅢ、シニアⅣについて
シニアⅠ以外のシニア年齢層については、一定の基準を満たした選手についてのエントリーを行う
- (4) その他国際競技会
妥当と判断した際には、エントリーを行い、代表派遣手続を行う
- (5) 帯同役員の派遣

規程に基づき帯同役員を派遣するが、選手強化部と連携してメンバーを選出する

競技本部

競技本部は5つの専門部に分かれて活動し、その各部の連携をはかり、以下の事業を行う。

- (1) DSCJ全日本統一級競技会の推進
- (2) JDSF主催競技会の改善に関する検討
東京オープン、三笠宮杯全日本選手権、都道府県対抗全国大会、グランプリ、ブロック選手権などへの協力支援及び整備
- (3) 審判員、チェアパーソン、スクルティニアなど競技資格者の質の向上及び、資格者の管理
- (4) 国際的レベルに達する選手及びジュニア選手の育成努力
- (5) ジュニア層の底辺拡大と競技力向上
- (6) PD 本部を加えた関連各本部、委員会への協力

1. 競技部

- (1) DSCJ 競技規則の検討と改訂
- (2) JDSF競技関連規程の検討と改訂
- (3) DSCJ 及び各ブロックと協調して、JDSF 公認競技会の開催推進、調整及び支援、公認認可手続き
- (4) 競技資格部のチェアパーソンとスクルティニア講習会の開催に協力
- (5) 競技本部、競技支援システム部と合同で会議(8回)を開催し、各部と連携し競技関連の問題点を処理
- (6) 派遣選考会及びグランプリの調整、支援、ダンススポーツランキングの集計、広報(7) 会員拡大を目的とした、生涯スポーツ系の競技会(普及競技)開催促進

2. 審判部

- (1) JDSF公認承認競技会への審判員派遣
- (2) 新規JDSF公認審判員登録手続きの実施
- (3) 審判員研修会(公認・承認)の実施
- (4) WDSF公認審判員登録手続きと派遣手続きの実施
- (5) PD 審判部との連携とPD 審判員の派遣業務
- (6) その他
 - * 審判員活動に関わる記録の整備・保管を行う
 - * 新審判基準策定、新審判方式実施などに関して必要な協力と提言を行う

3. 選手強化部

JOC 選手強化本部と連携を深めながら、ダンススポーツの競技力を国際レベルに引き上げていくために下記活動を行なう。

○目標

世界レベルの選手(ファイナリスト)を輩出する。

○中期的施策

ジュニア・ユースの支援を強化し、選手強化の底辺の拡大を図る。

○短期的施策

挑戦する意欲があり、WDSF&JDSF のポリシーに賛同する選手を、支援していく。

『強化選手評価基準』をベースに、可能な限り公平な支援を行なう。

具体的強化策

(1) 海外競技会・海外合宿・チーム派遣

1) 海外合宿 6/14-6/22 イタリア・モリネーラ

6/18 WDSF INTERNATIONAL OPEN 出場

2) アジア地域 WDSF 競技会出場支援

3) 世界選手権 ジュニア・ユースの派遣役員帯同

(2) 国内競技会・国内合宿・トレーニング

1) 国内合宿 : 夏 8/25-8/27 (鹿島)

春 3/17-3/19 (未定)

2) 強化練習会、特別強化練習会(海外優秀コーチ設置)

月1回(日曜 12:00-17:30 を基本とする)

年3回海外トップコーチを招聘しての特別強化練習会を行なう

3) パフォーマンストレーニング

毎週の水曜(スタンダード)、木曜(ラテン)を夜間 2 時間行なう。

(3) コーチングスタッフによる支援、サポート

(4) 医科学支援サポート

体力測定、管理、分析支援

JISS、DMA の活用サポート

(5) トップ選手への活動費支援(A ランク、B ランク)

(6) 遠隔地強化選手の旅費支援

(7) JOC 助成金支援を最大限活用

(8) ブルボン DST の活用 (ジュニア・ユース選手の育成)

4. ジュニア育成部

ジュニア層の底辺拡大と選手強化部との連携を図り、競技力向上の事業を推進するため、以下の事業を行う。

(1)ジュニア指導員の確保、資質の向上を図るための事業

1) 新規ジュニア指導員養成講座の開催及び支援

2) ジュニア指導員の研修会(7月、2月)

3) ジュニア指導員検定(10月予定)

4) ジュニア指導員要綱の改訂版(第6版)発行

5) ジュニア指導員講習会・研修会のための講師養成

6) ジュニア準指導員制度の管理

(2)ジュニア競技会開催と開催推進事業

- 1) 第12回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ 2017in東京
- 2) 各都道府県でのジュニア競技会の推進活動
- (3)ジュニア・ユースアスリートクラブの活動、運営
 - 1) 会員登録、会員の成績管理など
 - 2) 研修会、交流会など
 - 3) 競技会参加旅費の支援(選手強化部と連携)
 - 4) 表彰
 - 5) 会員手帳、会員のしおり 発行
- (4)認定ジュニアクラブ(サークル)への情報発信

5. 競技資格部

講習会(資格取得、資格更新)及び研修会(資格更新、受講歴)を開催し、競技資格者の資質の向上及び資格更新制度の適正な運用を図る。

資格更新制度適用の競技資格の講習会又は研修会の開催予定表

区 分	チェアパーソン (競技長)	スクルティニア (採点管理者)
北海道ブロック	2	2
東北ブロック	3 (内県連 2)	2 (内県連 1)
関東甲信越ブロック	13	10
中部ブロック	5 (内県連 4)	4 (内県連 3)
西部ブロック	5 (内県連 4)	4 (内県連 3)
九州ブロック	3 (内県連 2)	4 (内県連 3)
計	31	26

(1) 各ブロックは、資格更新のために、各競技資格者にかかる研修会を行う。

ただし、2つの競技資格のうちの1つについて、希望すれば本部講師による資格取得のための講習会を追加開催することができる(関東甲信越：都県単位で開催)

(2) 競技資格部の承認を得て、都道府県連盟が自らの予算で講習会又は研修会を開催することを奨励する

情報システム本部

情報システム本部では、JDSF情報システム(データベース)をもとに、正確で迅速な情報提供ならびに加盟団体との各種申請・登録手続きのWeb処理による事務処理の迅速化、ペーパーレス化を推進する。

一般会員、学連会員、3種加盟団体会員、PD会員等の会員管理機能の提供や、特定指導員、ジュニア指導員等の管理機能の改修等を実施すると同時に、Webを使った競技会エントリーシステムの開発を進める。

競技会関連システムでは、昨年開発した新審判システムV2.1への高解像度減点システムの追加開発を実施すると同時に、ユースオリンピックへの採点システムの提案を実施する。

また、引き続き、無線LAN端末による競技会支援システムの安定化を推進し、関連団体へ

の普及を図り、競技会の運営効率と入力 of 正確性を図る。

<平成29年度開発予定システム>

- (1) JDSF情報システムの機能強化
- (2) 競技会エントリーシステムのパイロット開発
- (3) 新審判システムV2.1 高解像度減点システム

1. 競技支援システム部

競技会運営を支援する情報システムの開発、運用、管理及びその改善を担当し、DSCJ/JDSF公認・承認競技会の正確、円滑な運営と改善を図る。

- (1) 競技支援システムの開発、運用、使用促進及びその改善のための立案と実施、並びに関連規程案の作成、提案
- (2) 競技会結果データの確認と主催者への教育指導、マニュアルの作成、並びに正確な昇降級認定、データの登録管理システム部への提出
- (3) リアルタイム採点システムの修正改善及びその普及

2. システム開発部

競技規程の改正に連動したシステム開発を実施する。

ニュージェネレーションダンス本部

下記の事業を実施する。

1. PR 推進本部との合同プロジェクトによる大々的プロモーションの実施
2. スタンダード・ラテン以外のダンスの普及
3. 他ジャンルダンス団体との協調と整合性の確保
4. 新たなダンス競技(コンテスト)体系の整備
5. 全国的な普及イベント企画
6. 3種加盟団体の会員拡大
7. 若手学連 OBOG 練習会&ミニコンペ開催
8. ユースオリンピック種目 ブレイクダンス日本代表選考会検討
9. ユースオリンピック予選となる世界選手権の日本主導による実施準備

1. イベントプロモーション部

- (1) 若手学連 OBOG 練習会&ミニコンペの開催
- (2) 他ジャンルと若手学連 OBOG の合同イベントの実施
- (3) ダンスイベントの開催、共催、協力
- (4) 東京オープンと三笠宮杯でのコンテンツ制作
- (5) ステージキッズの育成
- (6) 他団体や他企業との協業による新たなイベント開催

2. マネジメント部

- (1)ブルボン DST 所属選手の管理・派遣
- (2)ブルボン社への出演報告
- (3)特定選手の管理・派遣
- (4)ショーチームの管理・派遣
- (5)インストラクターの管理・派遣

3. ブレイクダンス部

- (1)ブレイクダンス業界の組織化
- (2)オリンピックに向けたブレイクダンス競技規程の普及と管理
- (3)オリンピックに向けたブレイクダンス審判員の育成
- (4)ブレイクダンス強化選手の育成

4. ダンスエンターテイメント部

- (1)フリースタイルダンスの普及
- (2)ダンスエンターテイメント制作
- (3)ステージキッズの育成

5. アクロバットロックンロール部

東海大学を中心に選手の募集を行っていく。

PR推進本部

ダンススポーツの普及のため広く国民に向けてダンススポーツの知名度を高める活動を行う。

1. 広報部

- (1)JDSF 広報誌「Dance Dance Dance」の発行・充実、その他広報活動
- (2)ホームページでの広報活動
 - 1)JDSF ホームページの更新維持管理
 - 2)JDSF メール処理の維持管理
- (3)メイン競技会のマスコミ認知活動、露出管理
- (4)JDSF 創立 40 周年記念誌編纂

2. PR 部

- (1)ブレイクダンスを先頭にマスコミ等への働きかけ
テレビ・新聞等マスコミへの働きかけを行い、会員及び国民へのダンススポーツへの普及促進を図る
- (2)ユースオリンピックを機に、若年層向けの大々的なダンススポーツPRを展開

若年層向けのプロモーションビデオを制作し、ホームページやSNSでの拡散を図る
(3) テレビアニメ化される「ボールルームへようこそ」とタイアップしたプロモーションを展開

マーケティング本部

1. マーケティング部

東京オープン、三笠宮杯等の主要競技会のプロモーション活動を積極的に行うとともに、ユースオリンピックでのダンススポーツ種目採用を広くPRしダンススポーツ競技の認知度の向上と新たなスポンサーの獲得を目指す。同時に、スポンサーの販路開拓のため、全国的な協力を行う。

2. 事業部

下記事業を実施する。

- (1) CD制作及び販売
- (2) 指導部・技術認定部制作の教本、DVD 販売
- (3) 次のグッズを販売
 - 1) JDSFオリジナルグッズ
 - 2) メーカーとのタイアップグッズ
- (4) 各地でパーティー開催の補助。
- (5) ダンスのできるホテル、旅館との提携。
- (6) テレビ局、雑誌社との関係
 広報部、事務局、各部門と連携し告知を実施
- (7) JASRAC との包括契約交渉の継続

PD 本部

1. 技術部

- (1) 月例会議を開く。(毎月第2水曜日)
- (2) WDSF 教本勉強会(部内)
 講師の指導要領の統一化の為の勉強会を行う。
- (3) WDSF 教本講習の講師の育成(年 10 回予定)
 - 1) JDSF 認定教室の制度を推進するにあたり、各地域において WDSF 教本や JDSF についての知識の研修会を開催する為各地域の講師の育成をすることが必要である。故に6ブロックより各1名ずつ代表者を講習会に招聘して受講し、技術部が認定した者については、地域での講習会活動を行ってもらう為技術部が講習会を開催する
 - 2) 一般会員への WDSF 教本講習会(2017 年度 10 回)
 ダンスの知識のレベル向上の為、JDSF 推奨の WDSF 教本の内容を理解してもらい、WDSF 教本と DVD の販売を促進する
- (4) WDSF 教本の参考書についての監修を行う(部内)
- (5) ゼネラル部門の医科学研究部と連携して科学的なダンスの解明を目指す

- 1) 健康寿命を延ばす為に毎日続けられるシンプルなダンスを考案してゆく
- 2) 科学的根拠に基づく指導法を研究する
- 3) バイオメカニクスと競技者に対するテクニックの解析やその指導法
- 4) コーチングにおけるスポーツ心理学の研究
- 5) スポーツトレーナーに必要な栄養学の研究
- 6) トレーナーとコーチ(による)長中期の選手育成プランの研究
- 7) 強化選手の育成システムの研究
- 8) 一般のダンス愛好者への指導要領の研究

2. PD 事業部

新規事業の計画作成(スカイプで隔月会議をする)

3. PD 競技部

- (1) PD ランキング競技会(各グランプリ等併催) シラバスの作成
- (2) PD ランキング競技会・管理役員派遣
- (3) PD ランキング競技会(各グランプリ等併催) 進行管理
- (4) PD ランキング競技会、開催報告
- (5) ブロック・ランキング競技会公認業務、承認競技会承認業務
- (6) ティーチャー&スチューデント競技会、競技規程検討・作成

4. PD 審判部

- (1) 審判員講習会(講習料は 10,000 円)
更新時の審判員義務講習会と新規の審判申請者の為の審判員講習会を兼ねて行う
 - 1) 東京で受講の場合は 1 回で終了、地方の場合は 2 回の受講を要する
 - 2) 第 1 回目は 2017 年 3 月 12 日の東京オープンの前日(11 日土曜日)に行う
 - 3) 第 2 回目は 2017 年 10 月 8 日の三笠宮の前日(7 日土曜日)に行う
- (2) 新規の審判申請者の為の講習等
 - 1) 審判員講習会を受講
 - 2) 採点管理者講習会及び審判員の心得に関する講習(5,000 円)を受講
採点管理者の無資格者対象
 - 3) 審判員の実施研修(合計 4 回の研修を必要とする)
タブレットを使用して S1 回、L1 回、ペーパーを使用して S1 回、L1 回
- (3) 審判部と各ブロックの連絡部との全国連絡会議
各ブロックに連絡部を設け審判部との全国連絡会議を年 2 回行う
内訳
 - 1) 東京にて 1 回開催する(審判員義務講習時に合わせて行う)
 - 2) またスカイプを利用して会議を 1 回以上行う
- (4) GD 審判部との合同会議
 - 1) JDSF 有明にて 6 回行う
- (5) 審判部会議
 - 1) 本部の審判部会議はフジトータルダンスカンパニー(飯田橋)にて毎月 1 回行う

- 2) また必要に応じ全国と同様にスカイプを利用して審判部会議を行う
- (6) PD スーパーグランプリカップへ審判部員の出向(6回/年間)
4/16in 大分・5/7in 大阪・6/4 愛知全日本 10 ダンス・7/23in 静岡・9/17in 仙台・10/8 東京
三笠宮杯

ホールルームダンス本部

1. ダンス教室事業推進部

次世代のダンス教室の事業を研究し、教室を活性化させるべく、新型事業を開発するとともに、認定教室制度を確立する。

- (1) ダンススポーツテクニカルメソッド開発プロジェクトと連携した教室向け全国共通の蓄積型カリキュラムの開発
- (2) ティーチャー&スチューデント、教室・サークル対抗戦ほか教室向け事業開発
- (3) 選手のセカンドキャリアの検討
- (4) 物販、広告その他、教室連携サービスの開発
- (5) 認定ダンス教室の確立と会員メリットを訴求できる広報戦略
- (6) ニュージェネレーションダンス本部、PR 推進本部などとの連携

2. BR ダンス普及部

学校学習並びに生活の場での娯楽としてのソーシャル系ダンスの普及。

- (1) ダンス開発本部などと連携したソーシャル系ダンスの場の普及(ダンス文化再構築)
- (2) 学校教育検討委員会などと連携した学校学習、教員免許更新講習などへの寄与(検討)
- (3) ソーシャル系ダンスを活性化させるための共通ルーティンの開発と普及
- (4) 普及本部、会員拡大委員会などとの連携

3. BR ダンス資格・管理部

PD 事業関係の各種資格認定を行い管理する。

- (1) PD 資格試験制度(PDI 資格相当)の確立と資格付与
- (2) ボールルーム地域指導員の資格付与、会員資格管理
- (3) PD 審判資格付与制度の確立
- (4) 競技本部、普及本部、資格認定委員会などとの連携

PD アスリート委員会

PD 所属のアスリートの立場の確立とPDA全体の意見集約

- 1. 6支部ごとの意見集約

PD ブロック

1. PD ブロック調整会議

1. 4月16日(日) PDグランプリ in 大分(別府アリーナ)
2. 5月7日(日) PDグランプリ in 大阪(不死王閣)
3. 6月4日(日) PDグランプリ in 愛知(津島市体育館)
4. 7月23日(日) PDグランプリ in 静岡(浜松アリーナ)
5. 9月17日(日) PDグランプリ in 仙台(青葉体育館)
6. 10月8日(日) 三笠宮杯全日本ダンス(東京体育館)
7. 2月25日(日) 東京オープン(東京体育館)

2. PD 東北ブロック

1. WDSF 教本講習会(1回)
2. GD東北ブロック委員会出向
3. 全国代表者会議出向(愛媛)

3. PD 関東甲信越ブロック

1. 定例委員会 シノダスポーツダンスクラブ(毎月一回第3月曜日)
2. T&S競技会 マスターズ I & II 6月10日 駒沢体育館
3. PD関東甲信越ブロックランキング競技会
 - 1)5月 日(日) 鎌ヶ谷市民体育館 St.
 - 2)9月 日(日) 埼玉県体育館 La. マスターズ I & II
4. WDSF 教本講習会
 - 1)11月19日(日) DTC
 - 2)日程、会場未定
5. 関東甲信越ブロック委員会出向
 - 11月4日(日) 栃木県
6. 全国代表者会議出向
 - 11月11日(土) 愛媛県
7. 第1回関東甲信越ブロックランキング選手権大会
 - 平成30年3月25日(日) 新宿区コスミックスポーツセンター

4. PD 西部ブロック

1. 定例委員会 年12回(毎月2回第3月曜日)
2. PD西部ブロックランキング競技会
 - 1)4月9日(日)京都DS 西山公園体育館 St. &La.
 - 2)5月3日(祝・水)奈良県 香芝市総合体育館 St.&La.
 - 3)6月11日(日)西部ブロック 不死王閣グリーンホール St. &La.
 - 4)7月9日(日)大阪DS 不死王閣グリーンホール St. &La.
 - 5)11月3日(予定) JDSF-PD西部ブロック選手権大会
(場所未定)St. &La.
 - 6)11月19日(日)奈良県 香芝市総合体育館 St.&La.
 - 7)3月11日(予定) JDSF-PD西部ブロック選手権大会
(場所未定)St. &La.

3. WDSF 教本講習会(2回) H29.10.29 H30.1月か2月 場所未定
4. 全国代表者会議出向 愛媛県
5. 西部ブロック親睦パーティー 平成30年1月予定(場所未定)
6. GD,PD ブロック調整会議 年1回(場所未定)

5. PD 九州ブロック

1. 定例委員会 年4回(1, 4, 7, 10月第1木曜日)
2. PD九州競技会
 - 1) 5月21日(日) 九州ダンススポーツ競技会(宗像ユリックス)
 - 2) 7月 長崎
 - 3) 8月20日(日) 西日本ダンススポーツ競技大会(宗像ユリックス)
 - 4) 9月18日(祝) 九州ダンススポーツ競技会(宗像ユリックス)
※ブロックランキング戦にしては?
 - 5) 11月19日(日) Japan Dance Trophy(宗像ユリックス)全国メイン競技会
 - 6) 1月28日(日) 九州ダンススポーツ競技会(宗像ユリックス)
 - 7) 2月25日(日) 西日本ダンススポーツ競技大会(宗像ユリックス)
3. WDSF教本講習会(2回) 4月、10月22日(日)、場所:未定
4. 全国代表者会議出向 愛媛県

PD 事務局

PD 事業が円滑に推進して行く為に管理、調整を行う。

1. PD 会員の登録等の管理
2. JDSF 本体と PD 部門の取次ぎ
3. 各部会議に出向
4. 各部の文書の取り扱い
5. PD 事業に関わる全ての事務業務
6. 定例会議(毎月1回第3もしくは第4木曜)

構造改革委員会

少子高齢化と会員の減少傾向を踏まえ、さらにはPD本部創設の意義を踏まえ、当連盟の目的を中長期にわたって確実に実施できるよう、会員制度、総会構成員、運営体制等も含めた組織機能や事業の在り方等を抜本的に検討する。

1. 組織委員会、企画委員会、ブロック運営委員会などと連携して、連盟の機能や事業を抜本的に見直し、財務状況の改善に努める
2. ダンス開発本部、マーケティング本部、PR 推進本部、会員拡大委員会、普及本部、PD本部などと連携し、新規事業領域の育成、展開が可能な機構を構築する

企画委員会

企画委員会は普及活動の一貫で、普及部と共同してワールドダンススタイル指導に取り組む、5回/年の講習会実施予定。

組織委員会

組織委員会は、本連盟の加盟団体が活発に運営されるように支援及び指導を行うが、平成29年度の重点実施事項は、構造改革委員会と連携して以下の施策を実施する。

1. 加盟団体の具体協加盟促進支援
2. PD部門の円滑な活動のための環境整備と諸制度の構築
3. ダンス人口の高齢化と減少に係る抜本施策の検討
 - (1) 定款、加盟団体規程等の抜本的な再検討に関する事
 - (2) 新たな会員制度や加盟団体の在り方に関する事
 - (3) サークル間の移籍の在り方に関する事

ブロック運営委員会

1. 北海道ブロック

部 門	月 日	内 容	場 所
競技部	4/1	審判員研修会(1回目・本部派遣なし)	札幌豊平区民センター
	4/2	2017年前期北海道ダンススポーツ選手権大会	同上
	5/28	北海道 DSC 第17回競技大会	同上
	8/19	審判員研修会(2回目・本部派遣あり)	同上
	8/20	グランプリ in 北海道 兼後期北海道ダンススポーツ選手権大会	北海きたえーる
	1/29	競技資格講習会・テキスト研修会	豊平区民センター(予定)
指導部	6/17・18	公認指導員(新規・B級昇級)講習会	札幌豊平区民センター
	7/16	公認指導員研修会	旭川
	7/16	公認指導員研修会	釧路
	8/19・20	公認指導員研修会	北海きたえーる
	9/24	公認指導員(新規・B級昇級)研修会	札幌豊平区民センター
	10/22	公認指導員研修会	函館
認定部	6/24	HG 技術認定会(北海道DSC)	札幌豊平区民センター(予定)
	9/24	HG 技術認定会	帯広
	11/26	HG 技術認定会	札幌豊平区民センター(予定)
事務局	4/未	ブロック運営委員会	札幌豊平区民センター(予定)
	7/ 未定	ブロック運営委員会	札幌
	9/ 未定	ブロック運営委員会	札幌
	1/ 未定	ブロック運営委員会	札幌
	3/ 未定	ブロック運営委員会	札幌

2. 東北ブロック

- (1) 東北ブロック主催又は主管の競技会を次の通り実施する

- (ア) 9月17日 仙台青葉体育館 ダンススポーツグランプリ in 仙台
- (イ) 10月15日 山形市総合スポーツセンター 東北ブロック選手権
- (2) エントリー減少に歯止めをかけるため若手アスリート発掘事業を実施する
- (3) ブロック選手権戦においてジュニア戦を行う
- (4) 学生大会支援のため広告を掲出する

3. 関東甲信越ブロック

- (1) 関東甲信越ブロック運営委員会及び拡大運営委員会を通じ、1都9県連盟の事業の運営円滑化を図る
- (2) DSC 会員に関する選手登録・競技会エントリー手続き、会員管理、及び情報提供等並びに都県連盟の DSC 活動支援を行う
- (3) 関東甲信越ブロック大会(選手権)を実施する
- (4) ダンススポーツ普及活動を行う

4. 中部ブロック

- (1) 中部ブロック主催又は主管の競技会開催は次の通り
 - 1) 5月21日 中部ブロック選手権大会
福井市南体育館にて開催(H30 都道府県のプレ大会も想定)
 - 2) 6月04日 津島市文化会館 全日本選手権 10ダンス 開催 (PD ラテン大会併催)
 - 3) 7月23日 浜松アリーナ ダンススポーツグランプリin静岡 (PD ラテン大会併催)
 - 4) 愛知・静岡・岐阜・富山・石川・三重の各県においてブロックポイント戦を各1回開催
- (2) 指導員講習会、研修会の開催
- (3) 競技資格者講習会・研修会の開催(岐阜県予定)
- (4) ブロック会議を年4回以上開催
- (5) PD 中部ブロックとの連絡会議を開催(内容、回数は調整中)

5. 西部ブロック

- (1) 西部ブロック運営委員会
年6回開催(奇数月)
 - 1) 14府県の運営円滑化及びサポート、
 - 2) 体協未加盟(鳥取・香川・広島・高知)県の加盟促進と援助
 - 3) ブロック内、競技日程調整
 - 4) 各府県 活動報告 及び 連絡と意見交換
 - 5) 各プロ団体との意見交換会開催(不定期)
- (2) 西部ブロック主催(主管競技会)
 - 1) 5月7日 グランプリ大阪 ブロック主管
 - 2) 6月11日 西部ブロック戦 ブロック主催 大阪府 DSF 主管
- (3) 指導員研修会・講習会年11回開催予定(14府県)
 - 1) 新規指導員講習会 随時(近畿地方、中四国地方で各1回の予定)
 - 2) B級指導員昇級講習会 随時(新規指導員講習と同時開催を検討)
- (4) 競技資格者研修・講習会

- 1) 競技会支援システム運用資格者講習(新規・更新)実施
- 2) 公認競技長・採点管理長テキスト研修

6. 九州ブロック

- (1) グランプリラテン in 大分の主管
- (2) 九州ブロック選手権 in 佐賀の主催
- (3) ゼネラル運営委員会の開催 (3回)
- (4) 公認指導員・資格更新研修会の主催 (8回)
- (5) チェアパーソン・スクルティニアテキスト研修会の主催(各1回)
- (6) チェアパーソン・スクルティニア資格取得講習会の主催(各1回)

財務委員会

少子化・高齢化や娯楽や趣味・スポーツの多様化等により、JDSF会員の減少が止まらない現象に、JDSFだけでなく、各県のダンススポーツ連盟の財政運営に危機をもたらしている。会員減少が止まらない中での、各県・各地区会費値上げも難しい状況になっている。その状況は地方ほど進んでいると思われる中で、少しでも財政を豊にすべく、競技会運営・ダンスパーティーの開催・技術指導会等を用いて、各県連盟の運営が存続しうる財務のあり方について、財務委員会として問題提議と取り組む。

会員拡大委員会

1. 会員拡大委員会の組織化を進め、会員の普及活動についての叡智を集約する
2. 全国会員拡大委員会会議を実施し、委員や会員の意見交流を行う
3. ワールド・スタイル・ダンス等の非競技系ダンスを普及する講習会などの活動を行う
4. ダンス愛好家の拡大のために初心者講習会などの啓発活動を行う
5. 少子高齢化の対策のために、介護施設での取組など高齢者に向けた取組のノウハウを研究するとともに、学連OBなど若手ダンサーの交流を支援する方策を研究する

学校教育検討委員会

大学の正規のカリキュラムにダンススポーツを導入するため、シラバスの作成や授業内容への支援を行うとともにカリキュラム導入の可能な大学等への働きかけを行う。

また、文部科学省の学習指導要領で中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女共に必修となり全面実施されている。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、幼・小・中・高等

学校の学習指導要領等を踏まえて、ダンススポーツの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究・開発を行いその積み重ねの成果を学校教員、一般及びダンススポーツ指導者に伝達し指導者の養成を図る。

アンチ・ドーピング委員会

以下の事業を実施する。

1. ドーピング検査の実施とその支援事業
2. アンチ・ドーピング啓発教育
 - (1) 選手のアンチ・ドーピング啓発
 - (2) ジュニア選手の親、コーチへのアンチ・ドーピング啓発
 - (3) 組織役員へのアンチ・ドーピング啓発

新審判基準委員会

新審判基準委員会は、ダンススポーツの審判の客観化のための活動を行っており、これまで国内全てのグランプリ競技会及び三笠宮杯で新審判方式を実施している。

また、WDSFも日本発の絶対評価に倣い、独自開発した新審判方式を採用し多くの国際試合で採用している。絶対評価方式での客観性や公平性を高く評価している。

平成29年度の重点実施事項は、以下の通りである。

1. 昨年の三笠宮杯より運用を開始した V2.1 システムを各グランプリにも拡大し、安定運用を図る
2. 新審判方式の普及のため、従来年1回東京で開催していた審判研修会以外に、地方でもグランプリの前日を活用する等、審判研修会を開催する
3. 各グランプリ大会後に審判員 Review を行うとともに、審判員研修においてもばらつきの原因の究明や意見交換をし、客観化を向上させる
4. 関東甲信越ブロック選手権のような、グランプリ以外の一般競技会でも、簡易方式(新審判方式 B タイプ)の実施をすることにより普及を図る

アスリート委員会

アスリート委員会は、トップアスリート選手の意見を、組織の運営に反映することを目的として、選手からの意見の集約と、JDSF への提言を行っていく。

また、JOC(日本オリンピック委員会)アスリート委員会とも連携し、他のスポーツ団体(NF)との情報交換も行っていく。

環境委員会

JOCによる環境保全活動は、1972年に札幌で開催された第11回オリンピック冬季競技大会に、その端を発している。以来、JOCは、スポーツと地球環境保全の課題に真摯に取り組み、オリンピック大会組織委員会の環境保全活動においても指導的役割を果たされている。

当連盟においては、JOCのこうした活動に学び、2012年2月に環境委員会を設置し、スポーツと環境保全活動を開始したが、平成28年11月度の業務執行理事会より議案書のペーパーレス化を推進したように、平成29年度もその活動を継続し、より発展させていく。

1. JDSF及び加盟団体主催の競技会での環境横断幕の掲出と環境保全の訴え
2. JDSF事務所会議室への環境ポスター掲示
3. 競技会等における環境保全活動
4. 事務所における環境保全活動
5. 「環境問題」がクローズアップされている地域など調査や活動方法の検討
6. 「環境問題」・「環境ポスター」等々の広報誌への掲載による環境保全活動の啓発
7. 指導員研修会等での「環境問題」をテーマとした講習の企画

倫理相談室

1. ダンススポーツ活動における子供のいじめ防止及び審判員の選手へのパワーハラスメント防を中心とした倫理活動について、連盟内の啓発に努めるとともに、相談があった時には迅速、適切に対応する
2. 倫理規程の周知、徹底を図る

ホームページプロジェクト

1. 平成27年10月にJoomla!というソフトウェアを利用してリニューアルしたホームページを情報システム本部とともに運用、改善を行う
2. 日本国民向けのホームページとして、物販、自動エントリーなども視野に入れた今後の方向性を検討する

事務局

1. 総務部

- (1) 各種業務規程等の整備
- (2) 就業規則に基づく人事関連運営の適正化
- (3) 加盟団体規約(都道府県連盟規約)適正化の推進
- (4) 会議等の適切な運営・議事録管理
- (5) 加盟団体に対する的確な情報伝達

2. 経理部

- (1) 公益社団法人としての適正な内部統制の実行
- (2) 経理規程等の整備
- (3) 予算管理及び経費支出の適正化
 - 1) 各部門責任者による予算執行状況の把握推進
 - 2) 各部門責任者の判断に基づく経費支出への統一
 - 3) 経理処理の適正化、明確化の推進
 - ① 会計単位(公益、収益、法人)区分経理の適正化
 - ② ブロック経理処理方法の統一

3. 法制部

- (1) 個人情報保護に関する規程の整備
- (2) セキリティ対策に関する規程の整備

4. ダンススポーツトレーニングセンター(DTC)の運用

- (1) 現状の技術指導の定期的使用プログラム1回に追加し、新たなプログラム実施を図る
- (2) 当連盟のトレーニングセンターとして、連盟内各種トレーニングの使用率のさらなる拡大を目指す
- (3) 日常の保守・管理部門である事務局と密接な連携を行う

JDSF主催競技会開催予定

平成 29 年

4 月 16 日	ダンススポーツグランプリ in 大分(S)	[べっふアリーナ]
5 月 7 日	ダンススポーツグランプリ in 大阪(L)	[不死王閣]
6 月 4 日	全日本10ダンス選手権	[愛知:津島市体育館]
7 月 23 日	ダンススポーツグランプリ in 静岡(S)	[浜松アリーナ]
7 月 30 日	第 12 回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ	[BumB 東京スポーツ文化館]
8 月 20 日	ダンススポーツグランプリ in 北海道(L)	[北海きたえーる]
9 月 17 日	ダンススポーツグランプリ in 仙台(S)	[青葉体育館]
10 月 8 日	三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会	[東京体育館]
11 月 12 日	第 25 回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会	[松山市総合コミュニティーセンター]

平成 30 年

2 月 25 日	東京オープンダンススポーツ選手権	[東京体育館]
----------	------------------	---------